

よしみ

議会だより



令和3年
9月議会定例会

No.164

● 令和2年度決算

● 主な議案の内容

● 一般質問に10名登壇

P 2 ~

P 8 ~

P 12 ~

この絵がステキだね

9月議会定例会

タブレットを活用した授業風景

西小学校で9月30日撮影

令和2年度の決算を認定

9月議会定例会は、8月31日から9月17日までの18日間の会期で行われました。

今定例会は、令和2年度の各会計決算認定、令和3年度一般会計および特別会計等補正予算、条例の一部改正、人事案件等26議案（発議を含む）が上程されました。町長提出議案のすべてが、可決、認定、同意されました。

なお、請願2件は不採択、議員提出の発議3件は可決となりました。

各種会計決算収支状況

会 計 名		歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
一 般 会 計		99億 751万1675円	93億8610万2899円	5億2140万8776円
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	21億8312万9920円	21億1213万1504円	7099万8416円
	後期高齢者医療特別会計	2億 361万4261円	2億 104万9110円	256万5151円
	介護保険特別会計	16億4901万2978円	15億7373万8748円	7527万4230円
	下水道事業特別会計	5億2887万7435円	4億9096万2332円	3791万5103円
	農業集落排水事業特別会計	4億3843万6298円	4億 781万9336円	3061万6962円
	公設浄化槽事業特別会計	1509万4237円	1397万6377円	111万7860円

水道事業会計

収益的収入および支出

収入 6億3521万8780円

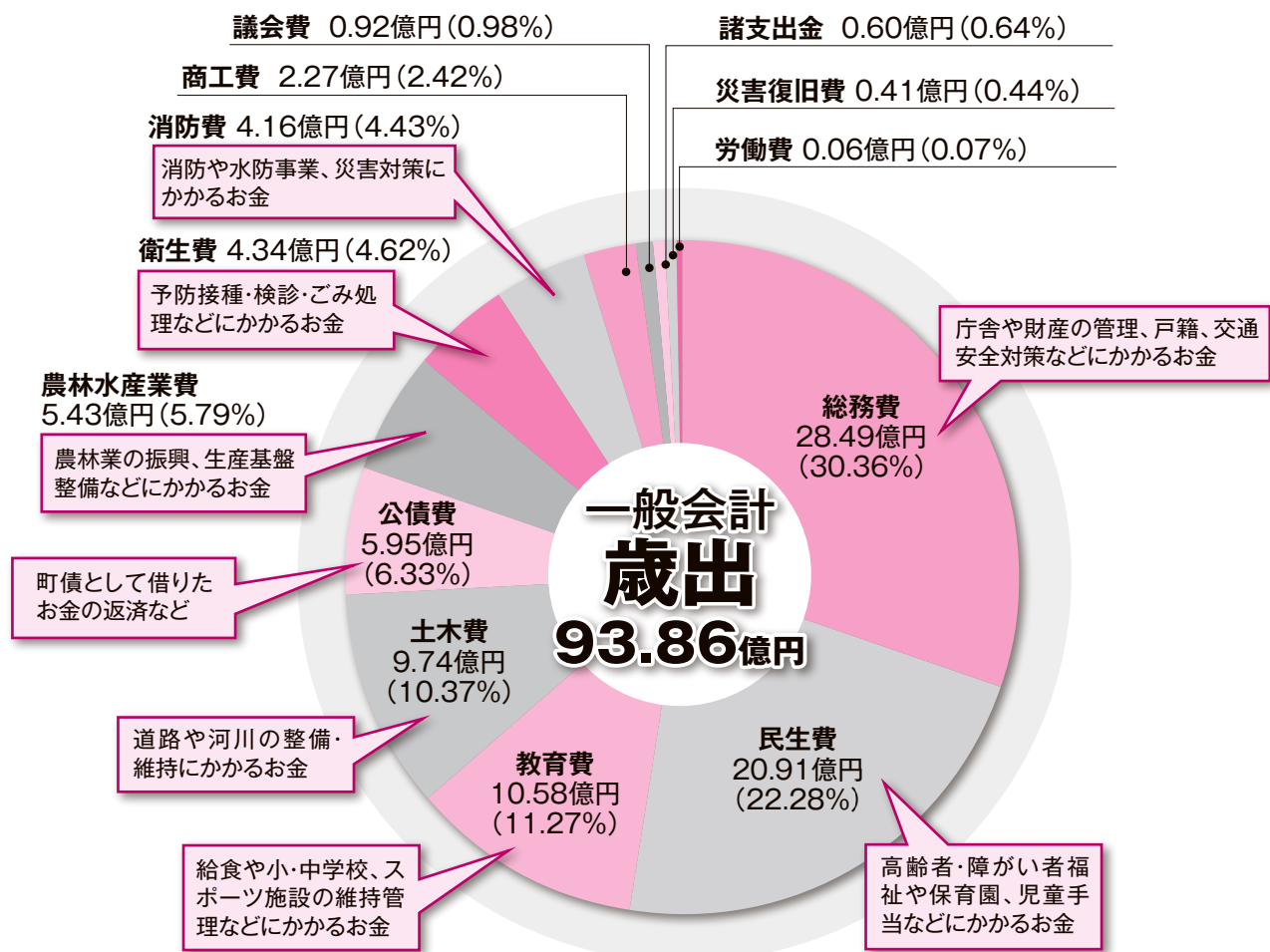
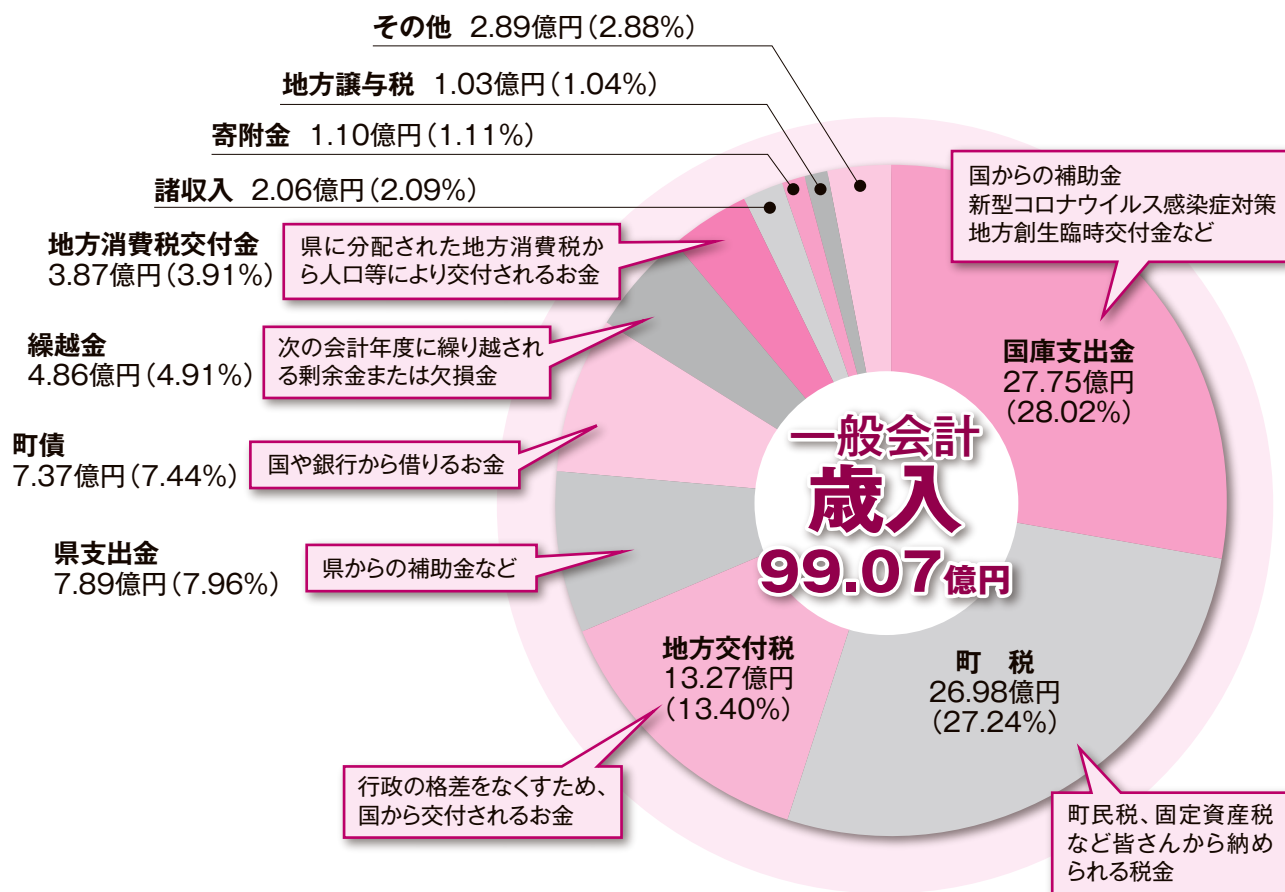
支出 6億5851万6000円

資本的収入および支出

収入 8601万4000円

支出 2億7489万1878円

※収入不足については、損益勘定留保金などにより補てんしました。



返礼品の拡充で 町へのふるさと納税が1億超え

総務建設常任委員会 決算報告

秋山真美 委員長

令和2年度吉見町一般会計決算のうち、本委員会が所管する議会費、総務費（町民健康課所管分を除く）、民生費（まち整備課所管分）、衛生費（町民健康課所管分および長寿福祉課所管分を除く）、労働費、農林水産業費、商工費、土木費、消防費、災害復旧費、公債費、諸支出金および予備費、特別会計決算のうち下水道事業費、農業集落排水事業、公設浄化槽事業、水道事業会計について決算審議を行いましたので、主な内容について報告いたします。

職員のストレスチェック受診と有給休暇取得状況は

会計年度任用職員を含む278人が受診し、高ストレスと診断された職員は、本人の申し出により保健師や産業医との面接指導、専門医での受診を勧めることもあります。有給休暇の平均取得日数は、令和2年が5.3日、令和元年度が5.1日で、県内でも低い取得状況です。これに対し、取得率が低いこともストレスや疲労の蓄積につながる要因と考えられるので、取得しやすい職場環境の整備を要望しました。

行政区支援金の活用状況は

新型コロナウイルス感染予防対策として、均等割5万円と世帯数に500円を乗じた合計金額を交付。各行政区の状況に合わせて対応できるよう、詳細な活用方法や使用期限は設けていません。マスクや消毒液などの衛生用品や非接触型体温計などの物品が購入されています。これに対し、支援金が有効活用されるように情報提供をしてほしいと要望しました。

防災ハザードマップ作成業務委託の内容は

国の補助金を活用し、洪水、地震、土砂災害の3つをひとつにまとめた吉見町防災ハザードマップを作成し、全戸配布しました。今後も内容の周知を図るため、住民説明会など開催します。これに対し、町民の洪水に対する意識向上は重要であるので、河川の氾濫時に想定される浸水の深さを示す標識などの設置の検討を要望しました。

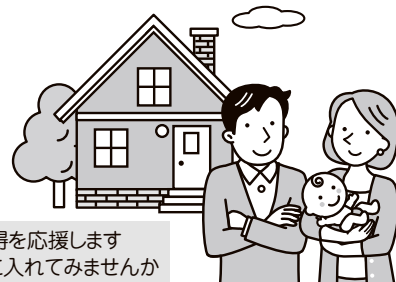


デマンド型交通の減額補正の理由は

令和2年度は2台体制で運行。新型コロナウイルス感染症の影響で利用者減となり、計画していた3台目追加を見送ったためです。これに対し、交通弱者をはじめ、駅への乗り入れなどの様々な移動ニーズに対し、民間事業者等とも連携・協力し、対応を検討してほしいと要望しました。

子育て世代定住化促進奨励金の交付状況は

Uターンの方、もともと町内在住の方への交付実績が多い状況です。今後、町外からの移住をターゲットに、空き家の利活用、移住・定住などに関連する複数の課題も踏まえ、制度の見直しを検討します。



子育て世帯の住宅取得を応援します
吉見町でマイホームを手に入れてみませんか

ふるさと納税の諸経費と寄附金税額控除の適用状況は

令和2年度の寄附総額は1億859万1千円で、前年度より大幅な増です。返礼品等にかかる諸経費は4935万4061円で、寄附額の約45%となっています。これに対し、町外に寄附された額など、ふるさと納税に関する他の要因についても把握し、また、寄附金の使い道を明確にするような取り組みを進めてほしいと要望しました。

寄附金税額控除の適用(町外寄附)対象者は304人、寄附金額2534万3600円で、町民税の控除額は1137万4675円です。



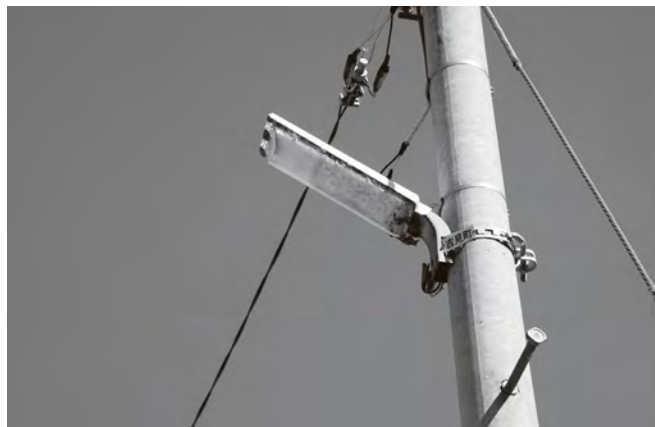
ふるさと納税返礼品の一部

太陽光発電設備の設置状況と苦情等の対応は

令和2年度中に16件が工事完了、町ガイドラインに基づく届出は73件。届出したものの工事着手がされない事業は、条例に基づく変更の届出、地域への再度の説明会を求めるなどの指導をします。苦情は、雨水排水対策、景観の変化、除草剤の使用などが寄せられており、設置・維持管理事業者適切な対処を指導しています。これに対し、担当課だけでは対応困難な場合は、行政全体として対応し、住民の生活環境の保全に努めてほしいと要望しました。

道路照明等LED化による電気料金への影響は

前年度と比較し、約4割の削減となっています。これに対し、夜間の安全確保のため、削減できた予算を活用し、積極的に道路照明灯の設置に努めてほしいと要望しました。



道路照明灯 LED灯

アスファルト廃材処分工事の処理量は

大和田地区の町有地から搬出し、処分したアスファルト廃材量は、すでに保管していた604㎡と道の駐車車場拡張工事事業地から搬入した317㎡を加えた921㎡です。これに対し、アスファルト廃材は法律を遵守し、適切な方法で取り扱ってほしいと要望しました。

橋梁長寿命化修繕計画策定業務委託の内容は

計画を策定することで、修繕等の必要がある橋梁へ国の補助金充当が可能となります。対象橋梁は84橋。

漏水調査の結果と修繕の状況は

有収率向上のため地区ごとに分けた漏水調査を計画的に実施し、令和2年度は北地区全域を調査。17か所の漏水が発見されました。町民からの通報で発覚した漏水など含め、80件の修繕を実施しました。

以上、本委員会において慎重審議の結果、原案のとおり認定すべきものと決した次第です。



図書館システム更新に伴うICタグの導入

教育福祉常任委員会 決算報告

尾崎 豊 委員長

令和2年度吉見町一般会計決算のうち、本委員会が所管する総務費（町民健康課所管分）、民生費（まち整備課所管分を除く）、衛生費（町民健康課所管分および長寿福祉課所管分）、教育費および特別会計決算のうち、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計について決算審議を行いましたので、主な内容について報告いたします。

婦人検診委託料のうち、子宮がん検診の委託料と受診者が増加した要因は

集団検診の場合、子宮頸部は単価が5878円で219件です。個別検診の場合、子宮頸部は単価が5840円で105件子宮頸部と体部は単価が5840円で105件、子宮頸部と体部は単価が8474円で114件となります。検体再採取は単価が4400円で1件です。

個別検診のみとしていた子宮がん検診は、令和2年度から新たに集団検診を開始し、充実化を図ったことにより、受診者が170人増加しました。

敬老祝金の見直しは

敬老祝金は、長寿を祝福し敬老の意を表すため、年度内に77歳、88歳、99歳に達する方に対して祝金を支給するものです。支給を開始した当時と比べ、少子高齢化が進み今後も平均寿命は延伸すると見込まれている現在の社会情勢および近隣の自治体でも支給の対象年齢や金額等見直しを図っている状況を踏まえ、あり方について見直しを進めていきます。

	支給人数	支給額	金種
77歳	269人	1万円	原則、地域通貨
88歳	83人	3万円	原則、地域通貨
99歳	5人	5万円	現金

インフルエンザ予防接種費用助成の対象者は

対象者は中学3年生で、吉見中学に在籍している生徒は学校を通じて、町外の学校に通っている生徒には郵送で知らせるとともに、広報、ホームページ、SNSで周知しました。

対象人数	134人
助成対象者	54人

子育て応援事業の委託先と事業内容は

委託業者のNPO法人武蔵丘スポーツクラブは、地元の武蔵丘短期大学を拠点に、誰もがスポーツ活動や健康づくり活動に参加できる環境づくりに取り組み町の各種事業に協力をいただき、専門的立場から乳幼児の遊びや、体の使い方、離乳食の作り方等について直接指導や実演をしていただいています。参加したお子さんや保護者に大変喜ばれています。



子育て応援事業 ベビーキッチン

タブレット活用に関する教員の研修の実施と児童生徒のタブレット活用の状況は

タブレット活用に関する教員の研修は、各学校に操作方法や学習支援ソフト等の使用について研修を行っています。児童生徒の活用状況は、授業中の調べ学習のほか、体育等では動画を撮影し、お互いの動きを確認するなど活用しています。今後も児童生徒が理解を深める学習方法の一つの手段として、より効果的な活用方法について調査、研究していきます。

人権教育推進事業は

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の予防対策を行い、集会所学級や人権教育指導者養成研修会などの事業を実施しています。今後も集会所運営委員会や人権教育推進協議会など関係機関と連携を図りながら、より一層充実した人権教育に取り組んでいきます。

図書館システム更新に伴うICタグの導入は

既存の図書館システムは、貸出返却手続きの際、図書資料を1点ずつ読み取るため、受付に時間を要していました。オープンに併せ、図書館システムの更新および自動貸出機と同時にICタグの導入を行いました。図書資料の情報を一度に10冊まで読み取ることが可能となるため、業務の効率化と利用者の利便性の向上につながるものと考えています。



新たに導入された自動貸出機

国民健康保険税の不納欠損と収納対策は

令和2年度の不納欠損額は256万2800円で、主な理由は執行停止後3年継続したことによるものです。未収入金の解消に向け、督促状や催告書の発布のほか、臨宅徴収、差押の実施、休日納税相談などの収納対策に取り組んでいます。

認知症高齢者等見守りシール交付事業は

この事業は、認知症高齢者等の安全を確保するとともに、介護者等の介護負担の軽減を図る目的で令和2年度から開始した事業です。QRコード付きのシールを認知症高齢者等の衣類等に貼り付け外出先で保護された際に、保護した人がスマートフォン等でQRコードを読み取ると、介護者に発見したことを知らせる通知メールが送信され、早期保護が図れる仕組みとなっています。引き続き、認知症高齢者の支援策として啓発していきます。



町民会館使用料還付金の内容と件数は

国の緊急事態宣言と県の要請を受け臨時休館としたことにより、町民会館の各施設利用者へ納付済の使用料を還付したもので、還付件数は65件。

ジェネリック医薬品の利用促進は

医療費を削減することを目的に、ジェネリック希望シールの配布や差額通知の発送など利用促進に向けての取り組みを行いました。令和2年度末のジェネリック医薬品の利用率は72.6%で、年々上昇しており、着実に取り組みの成果が表れている。

以上、本委員会において慎重審議の結果、原案のとおり認定すべきものと決した次第です。

主/な/議/案/の/内/容

議案 55

固定資産評価審査委員会への審査申出書等の書面への押印および署名を不要とする

賛成
全員

内 容	○審査申出書	押印不要	○口頭審理調書	署名・押印不要
	○口頭意見陳述調書	署名・押印不要	○実地調査調書	署名・押印不要
	○口述書	署名・押印不要	○議事録	署名・押印不要

議案 56

個人町民税に関する関係規定の整備とセルフメディケーション税制の見直し

賛成
全員

内 容	○国外扶養親族の留学生や障害者、送金関係書類において38万円以上の送金等の確認できる者を除く30歳以上70歳未満の成人を扶養控除の対象としない。
	○特定一般用医療品等購入費を支払った場合の医療費控除の特例を5年の延長を行う。
	○令和5年度以後の個人住民税について適用。

議案 57

令和4年2月から印鑑登録証明書等のコンビニ交付導入

賛成
全員

内 容	マイナンバーカードを利用して、コンビニに設置してある多機能端末機に暗証番号を入力することにより、印鑑登録証明書の交付を受けることができる。
-----	---

議案 58

令和4年2月から住民票の写しをコンビニ交付導入に伴い、手数料を世帯人数に応じた加算方式を廃止し、一律料金に

賛成
全員

内 容	マイナンバーカードを利用して、コンビニに設置してある多機能端末機および窓口で、住民票の交付を受けた時の手数料は、1通200円に。
-----	--

議案 59

重度心身障害者医療費の支給にあたり、各種医療保険の被保険者等の電子資格確認を追加

賛成
全員

内 容	これまで受給者が、医療を受けようとする場合、被保険者証、組合員証または加入者証の提出していたが、電子資格確認等での確認に変更された。
-----	--

議案 61

一般会計補正予算(第3号)
2億1721万3千円を追加し、予算総額を78億5176万6千円に

賛成
全員

ー主な歳入ー

○地方特例交付金	601万円
○地方交付税	2億2055万円
○ふるさと納税寄附金	6000万円
○財政調整基金繰入金	△3億3667万円
○前年度繰越金	1億5996万円
○準用河川横見川改修事業債	1800万円
○臨時財政対策債	7532万円

(1万円未満切り捨て)

ー主な歳出ー

○政策推進費(地域創生推進事業)	500万円
○情報化対策費(情報保守管理事業)	700万円
○商工振興費(ふるさと納税推進事業)	2807万円
○道路維持費(主要町道整備事業)	1800万円
○河川費(準用河川横見川改修事業債)	1800万円
○積立金(減債基金管理事業)	7532万円
○積立金(公共施設等総合管理基金費)	3910万円

(1万円未満切り捨て)

請願第1号 再生可能エネルギーの割合を高めるエネルギー基本計画の改定に関する請願

賛成
少数

紹介議員 戸谷照喜議員

請願者 生活クラブ生活協同組合 比企支部 運営委員長 西山日輪子

趣旨 日本政府に対し、下記の意見書を提出してください。

- 1 国は脱炭素社会に向けて、環境負荷の少ない再生可能エネルギーを推進する政策への転換を早急にすすめてください。
- 2 国は次期エネルギー基本計画で、2030年度の再生可能エネルギー電力目標を60%以上、2050年度は100%としてください。
- 3 国はリスクを抱える原子力発電は廃止し、石炭火力発電は段階的に2050年度までに廃止してください。

請願第2号 「日本政府に核兵器禁止条約の署名と批准を求める意見書」の提出を求める請願

賛成
少数

紹介議員 齊藤嘉宏議員

請願者代表 小島孟 ほか641名

要旨 日本政府が核兵器禁止条約の署名と批准するよう、吉見町議会として意見書を国に提出してください。

発議第4号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書(案)の提出について

賛成
多数

提出者 秋山真美議員

趣旨 国に対し、令和4年度地方財政対策および地方税制改正に向け、下記事項(5項目)を確実に実現されるよう強く要望する。

- 1 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額は、十分な総額を確保すること。
- 2 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税、制度の根幹を揺るがす見直しは行わないこと。
- 3 土地に係る固定資産税の負担調整措置は、令和3年度限りとすること。
- 4 自動車税・軽自動車税の環境性能割臨時的軽減の更なる延長は行わないこと。
- 5 炭素に係る税を創設・拡充する場合は、その一部を地方に税源配分すること。

発議第5号 出産育児一時金の増額を求める意見書(案)の提出について

賛成
多数

提出者 秋山真美議員

趣旨 少子化対策は、わが国の重要課題のひとつ。子育てスタート期の出産時の経済的な支援策を強化することは欠かせない。よって、政府に対し、現在の負担に見合う形に出産育児一時金を引き上げることを強く求める。

発議第6号 核廃絶に向けた取り組みを求める意見書(案)の提出について

賛成
多数

提出者 安孫子和子議員

趣 旨 政府に対し、唯一の戦争被爆国として核廃絶に向け核保有国と非保有国との「真の橋渡し」の役割を我が国が担うため、下記事項(3項目)を早急に取り組むことを強く求める。

- 1 NPT運用検討会議が開催される際には、最終文書採択に向け、共通基盤の形成に貢献すること。
- 2 新戦略兵器削減条約の対象分野の拡大、枠組みの拡大に向け、積極的貢献を行うこと。
- 3 核兵器のない世界の実現に向けて核兵器禁止条約をめぐる「溝」の橋渡しをはじめ、我が国の具体的な貢献のあり方を検討すること。

一 部 事 務 組 合 報 告

北本地区衛生組合議会定例会
し尿処理

» 荻野 勇 議員

日 時 令和3年7月27日(火) 午前9時から
場 所 北本地区衛生組合議場
出席議員 土田健壽 荻野勇 小林周三

(千円)

	吉見町	し尿	浄化槽	農集汚泥
令和2年度	5631.27	597.06	3695.62	1338.59
令和元年度	5927.57	6070.71	3511.19	1808.67
差	-296.30	-5473.65	184.43	-470.08

なお、上程された議案は、管理者提出議案2件と議員提出議案1件です。

付議された議案

- 議案第7号 令和2年度決算の認定について
歳入決算額は、3億2216万4211円。歳出決算額は、2億9954万2810円。歳入歳出差引額2262万1401円。
- 議案第8号 組合職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正について
- 議提第1号 組合議会会議規則の一部改正について

いずれも原案のとおり認定、可決されました。

一部事務組合とは、複数の地方公共団体などが行政サービスの一部を共同で行うことを目的に設置する組織。
吉見町は3つの一部事務組合に参加しています。

比企広域市町村圏組合議会定例会
消防、斎場、介護認定・障害支援区分審査等

» 安孫子 和子 議員

日 時 令和3年8月5日(木) 午前10時から
場 所 東松山市議会議場
出席議員 岩崎勤 安孫子和子

副管理者からの行政報告 消防業務では、新型コロナウイルス感染症に係る救急搬送者数は、7月末現在で、感染者77名、感染疑い234名。指令業務共同運用に向けた埼玉西部地域消防指令事務協議会が5月1日に発足。庁舎関係では、消防本部の屋上防水および空調設備の改修工事に係る設計開始。車両関係では、ときがわ分署に水槽付き消防ポンプ自動車、東秩父分署に高規格救急自動車の更新配備を予定。斎場および霊きゆう自動車事業では、平成30年9月から進めてきた整備工事が6月末で完了し、7月18日に竣工式を執り行いました。

付議された主な議案

議案第25号から議案第29号は、令和3年度一般会計および特別会計の補正予算。

議案第30号から議案第34号までの令和2年度決算は、下記のとおり。

(円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
一般会計	7634万1849	6386万8047	1247万3802
消防特別会計	31億7747万2989	29億9652万6428	1億8094万6561
斎場および霊きゆう自動車事業特別会計	14億1403万8315	13億8712万7657	2691万0658
介護認定および障害者支援区分審査会特別会計	6582万2253	5436万1444	1146万0809
公平委員会特別会計	74万2293	34万4768	39万7525

いずれも原案のとおり認定、可決されました。

議 案 審 議 結 果

町長提出議案

議案番号	件名	参照 ページ	結果	齊藤	土田	戸谷	柳谷	秋山	尾崎	神田	荻野	宮崎	安孫子	杉田	小林	小宮	岩崎
議案第55号	吉見町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	8	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第56号	吉見町税条例の一部を改正する条例	8	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第57号	吉見町印鑑条例の一部を改正する条例	8	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第58号	吉見町事務手数料条例の一部を改正する条例	8	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第59号	吉見町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	8	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第60号	町道路線の廃止について	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第61号	令和3年度吉見町一般会計補正予算(第3号)	8	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第62号	令和3年度吉見町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第63号	令和3年度吉見町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第64号	令和3年度吉見町介護保険特別会計補正予算(第2号)	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第65号	令和3年度吉見町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第66号	令和3年度吉見町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第67号	令和3年度吉見町公設浄化槽事業特別会計補正予算(第2号)	—	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第68号	令和2年度吉見町一般会計決算認定について	2～7	認定	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●	●	×	×	議長
議案第69号	令和2年度吉見町国民健康保険特別会計決算認定について	2・6・7	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第70号	令和2年度吉見町後期高齢者医療特別会計決算認定について	2・6・7	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第71号	令和2年度吉見町介護保険特別会計決算認定について	2・6・7	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第72号	令和2年度吉見町下水道事業特別会計決算認定について	2・4・5	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第73号	令和2年度吉見町農業集落排水事業特別会計決算認定について	2・4・5	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第74号	令和2年度吉見町公設浄化槽事業特別会計決算認定について	2・4・5	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第75号	令和2年度吉見町水道事業会計決算認定について	2・4・5	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
議案第76号	教育委員会教育長の任命同意について	17	同意	●	●	●	×	●	●	×	●	×	●	●	×	×	議長
議案第77号	教育委員会委員の任命同意について	17	同意	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長

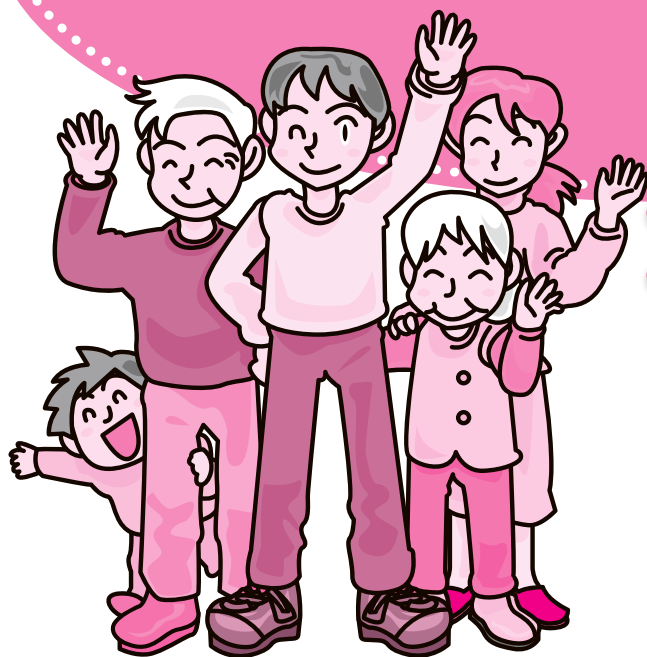
請願

請願第1号	再生可能エネルギーの割合を高めるエネルギー基本計画の改定に関する請願	9	不採択	●	●	●	×	×	●	×	●	×	×	●	×	×	議長
請願第2号	「日本政府に核兵器禁止条約の署名と批准を求める意見書」の提出を求める請願について	9	不採択	●	●	●	×	×	●	×	●	×	×	●	×	×	議長

議員提出議案(追加)

発議第4号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書(案)の提出について	9	可決	●	●	×	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長
発議第5号	出産育児一時金の増額を求める意見書(案)の提出について	9	可決	●	●	×	●	●	●	●	×	●	●	●	●	●	議長
発議第6号	核廃絶に向けた取り組みを求める意見書(案)の提出について	10	可決	×	●	×	●	●	●	●	×	●	×	●	●	●	議長

町政に対する 一般質問



そこが聞きたい

こうしてほしい

一般質問とは？

「一般質問は、議員が町政全般について、自由なテーマで質問・政策提言を行うもの」で、町民の声を町政に届けるものです。(持ち時間1人60分)

議会だよりでは本人の原稿をもとに、その内容を約700字以内で要約し、お知らせしています。



» 戸谷 照喜 議員

9月28日(火)の原稿締切日までに、
原稿の提出がありませんでした。

吉見町の 活性化事業の推進を

≫ 緑友会 尾崎 豊 議員



問1 町の今後のイベント実施の取組は。

答 町内の感染状況および関係機関や団体と協議を行うとともに、感染防止対策を徹底し事業の開催について検討していく。

問 コミュニティ活動での花植え活動は。

答 季節に応じて、花の種類を揃えるなど町全体として同じ方向性を持った活動にすることは、花いっぱい運動の目的や事業の趣旨に沿っていることから、さらなる事業効果があるものと考えている。

問2 吉見町のスポーツ協会の見直しを。

答 吉見町スポーツ協会は、加盟している各競技種目団体の活動を通し、町民の活動機会を提供することで、町民の心身の健全な発達に大きく寄与している。見直しは、町の任意団体であり、協会の中で議論していただくことが大前提と考えている。

問 中学校の今後の部活動とスポーツ協会、スポーツ少年団との連携の取組は。

答 ここ数年、生徒数の減少により部活動によっては、本来の生徒の活動、活躍の場が減ってしまうことを懸念している。スポーツ協会やスポーツ少年団との連携を図って行きたいと考えている。

問3 吉見町の小中一貫教育と連携は。

答 吉見町立学校学校適正規模等検討委員会に対し、小中一貫教育や義務教育学校についても見解を深めるなどを諮問理由とした、諮問書を提出した。また、小学校同士、あるいは小中の連携は、授業研究協議会の実施のほか交流事業を頻繁に行っている。



地域コミュニティの推進

町が行った アスファルト切削材 処理方法の失態

≫ 令和の会 神田 隆 議員



問 吉見町久保田地内（道の駅いちごの里よしみ南側）にアスファルト切削材を適正処理されず、敷材として使用することができないと知ったのは。

答 令和2年2月19日に東松山環境管理事務所から工事の工程で発生したアスファルト切削材は、産業廃棄物になることから、路盤材として使用できないと認識した。

問 アスファルト切削材をこのような処理を行うよう誰が計画したのか。

答 個人ではなく、当時の地域振興課とまち整備課により対応した。

問 町長および担当職員は、このような産業廃棄物処理についての知識と経験は。

答 町道の敷砂利工事などに再利用した経緯があったことから、産業廃棄物の認識はしていなかった。

問 今回のアスファルト切削材での処理にかかった期間と職員経費、処理費、事務費および消耗品等の費用を聞きたい。

答 職員経費や事務費用および消耗費等については、通常業務の中での対応である。工事費は、道の駅駐車場拡張事業地から大和田地内の町有地へ搬出、運搬するためアスファルト廃材運搬工事として発注した工事費129万8千円。期間は、令和2年3月18日から3月31日まで。その後、町有地から搬出、運搬および処分するためのアスファルト廃材処分工事として発生した工事費は523万7100円で、期間は令和3年1月25日から3月31日。2件の工事費合計で653万5100円となっている。



アスファルト廃材撤去後

町内公共施設の 照明のLED化進めよ

▶▶ 公明党 安孫子 和子 議員



問1 国は、2050年までに二酸化炭素等の温室効果ガス排出量を実質ゼロ（カーボンニュートラル）にする「脱炭素社会」を目指している。その一助として町内公共施設の照明をLED化すべき。

答 二酸化炭素排出量の削減に資する効果的な手法であることから、計画的に推進していく。

問 課長答弁では、町個別施設計画のロードマップに沿って施設の改修や照明の修繕等に合わせて実施していくとのことだが、何年かかるか分からない。水銀灯は水俣条約により、2020年12月31日以降、製造輸出入が禁止され、蛍光灯も生産終了が進む。必要に応じて、調光機能付きLED照明も考慮しつつ、前倒しでやるべき。

答 予算の平準化や優先度等を考慮し、環境に配慮した脱炭素社会へ向け、早急に取り組む。

問2 子宮頸がんおよび予防ワクチンの情報周知について。厚生労働省によれば、子宮頸がんは、国内で毎年約1万1千人が発症し、約2800人が死亡している。子宮頸がんのため妊娠できなくなる女性が毎年1200人いる。子宮頸がんワクチンは、現在でも定期接種だが、知らない人が増えている。厚生労働省作成のリーフレットを個別に郵送し、ワクチン接種が増えている自治体がある。町の現状は。

答 昨年10月に、国から対象者が情報に接する機会を確保し、接種するかどうかを検討・判断できる情報提供に努めるよう勧告通知があった。今年3月に中学3年生の女子に個別通知した。7月には、対象者に、予防接種の案内とともに厚労省の子宮頸がんワクチンのリーフレットを配布し、情報提供した。



遊具がある公園と 県道交差点渋滞緩和 を要望

▶▶ 令和の会 柳谷 泉 議員



問1 約10年間放置状態の旧保育園3園は、吉見町公共施設個別計画に今年度からをめでに解体・除却となっているが、現段階の計画は。

答 現段階での具体的な計画はないが、財政状況などを勘案し、計画的に解体・除却を進めていく。

問 跡地利用の計画を立てる中で住民説明会等を開くなど、住民の声を聞いて取り入れてほしい。元々子育て施設があり、吉見町では遊具がある公園が少ないとの声も寄せられているので、子育て支援の観点からも3園ある中で1つでも実現してほしい。町の考えは。

答 跡地利用は、売り払い・賃貸をはじめ、必要に応じて町民の意見を伺うなどして、さまざまな視点から、有効に活用できるように考える。

問2 これから町づくりの根幹になる、県道東松山鴻巣線4車線化のこれまでの取り組み状況と進捗率は。

答 埼玉県で実施した事業説明会や、県道沿線4行政区の意見交換会、用地測量や調査業務等に随行し県と連携して進めている。また、用地取得事務を県から受託して、用地交渉に必要な土地の価格や物件補償料の算定を経て、用地交渉を進めている。進捗状況は8月末現在で、約7割の進捗。

問 現在久米田交差点、吉見町役場前交差点の交通渋滞が著しく、渋滞緩和に対して町としての考えは。

答 久米田地内の用地買収および引き渡し完了した区間から、今年度より4車線化工事が本格的に実施され、渋滞緩和が期待される。また、吉見町役場前交差点は、重点的に用地交渉を実施している。

その他の質問 ・行政評価制度導入について



跡地利用が期待される旧北下砂保育園



猛威を振るっている デルタ株対策は

≫ 緑友会 土田 健壽 議員

問1 デルタ株の予防策と、指導は。

答 コロナ対策の基本、手洗い・マスク着用・3密の回避等は引き続き継続し、有効な予防策であるワクチン接種率の向上に努める。学校では、児童生徒の安全安心を第一に考え、校内感染およびその拡大リスクを可能な限り、低減に努める。

問 家庭内感染が多い、デルタ株対策は。

答 児童生徒にストレスを感じさせないように気配りしながら、各家庭にウイルスを持ち込まない、持ち込ませない、のお願いを保護者宛に実施している。

問 16歳以上の接種予約率と接種率は。

答 8月30日時点で、65歳以上2回接種が88.4%。50歳から64歳予約が74.2%で、2回接種が64.1%。16歳から49歳予約が56.6%で、2回接種が14.7%。

問 町内の感染者で、ワクチン接種有無の確認は。

答 県から個人情報の提供がないため、確認できない。

問 人と接触機会の多い年代の接種率アップは。

答 ワクチン接種は任意の判断なので、なぜ必要かを町のホームページや広報誌等で周知に努める。

問2 太陽光発電施設の設置時、近隣への雨水流出防止策は。

答 条例に基づき、適正な設置および維持管理の指導を実施。雨水対策は原則事業区内で処理とし、地域住民への被害軽減に努めるよう、指導している。

問 雨水問題で、担当課が困窮時、他課の協力は。

答 要請により、共に相談確認等の協力はする。

問3 水害時の避難場所対策は。

答 浸水想定区域の住民は1万人を超えるため、水害時の避難対策強化として、森林公園、こども動物自然公園、北本市と施設利用協定を締結した。



コロナ禍でも児童は元気いっぱい



空き家バンクの導入 で利活用推進を

≫ 公明党 秋山 真美 議員

問1 空き家の利活用推進について伺う。空き家の数と状態は。

答 昨年度実施した実態調査では、389件の空き家を認定し、職員が行った外観目視調査から、外観が良好で容易に移住・活用等が可能な空き家は、約50%。また、家屋所有者の意向等も確認でき、昨年度から事務担当者会議等も重ねられており、有効な対策、取り組みを検討していく。

問 家屋所有者意向調査の結果内容は。

答 有効回答数は309件で、条件が合えば利活用したい35.9%、利活用の予定がある29.8%。また、売却希望45.6%、賃貸住宅活用18.3%（複数回答可）。

問 外観が良好で移住・活用等が可能な空き家は、約50%。売却や賃貸を希望している方もいる現状。空き家の利活用を推進するためには、情報の公開は重要

ではないか。空き家バンクも有効な方法だと考える。県内でも多くの自治体が導入しており、効果も実証されている。以前から複数の議員からも提案がなされている、空き家バンクの導入の考えは。

答 広く情報を発信するツールとして、空き家バンクは有効と考える。検討していく。

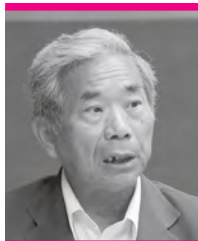
問2 3月議会でも提案したが、新型コロナウイルス感染自宅療養者などに対する、町の支援の考えは。

答 8月30日から受付を始めた。自宅療養者に対し、問い合わせがあれば食料品、日用品、パルスオキシメーターの貸し出しなどを行うこととした。

問 月～金だけでなく、土日も対応が必要では。

答 土日も日直を通じて対応していく。





勤務時間管理を タイムカード方式に

▶▶ 日本共産党 齊藤 嘉宏 議員

問 年休取得日数が年間で0日、平均で3日前後の課がある。2019年4月から1人5日以上年休取得を法律で定めている。現在の職員配置で対応できるのか。また、できない場合の対策は。

答 職員の配置は、毎年各課局長とヒアリングを実施、適正な人員を配置している。今後とも職員の時間外勤務や休暇の状況を各課と確認し、適正な人員配置に努める。最低でも5日以上取得、さらには前年よりも多い取得を目指して、全庁を挙げて取得促進に取り組む。

問 勤務時間の終業時刻は17時15分だが、職場を離れる平均的な業務終業時刻は何時頃か。

答 業務の繁忙期等は、午後8時や午後9時まで職員が残っている課も見受けられる。退庁時刻は把握していない。

問 人事院勧告では、「超過勤務の縮減にあたっては、

職員の勤務時間を適正に把握し、管理することが重要である」と主張している。そこで、長時間労働を防ぐために、勤務時間管理を出勤簿からタイムカード方式に変更する考えは。

答 タイムカード方式の導入については、費用対効果や業務の効率化なども踏まえ、調査、研究を行う。

問 今年10月から最低賃金が956円となるが、採用給も含め、最低賃金を千円以上に引き上げを要望する。

答 最低賃金を千円以上に引き上げることは、会計年度任用職員の職務内容や責任等を踏まえ、常勤職員との均衡も考慮し、今後、国や県の状況を注視する。

問 臨時職員として5年勤務した人が、会計年度任用職員に採用された場合、1年目の年休日数は何日になるのか。

答 任用期間や勤務形態等が従前の臨時職員とは変わることから1年目として、例えば、フルタイムとして任用された場合は、初年度10日を付与している。



町の各種事業の 進捗状況を問う

▶▶ 令和の会 小宮 栄 議員

問1 大和田地区産業団地は、鴻巣市の工業団地と同時期に始まった事業で、鴻巣市の方は事業が進んでいるが、吉見町はどのくらい進んだのか。

答 約93%の権利者から合意をいただいた。

問2 道の駅東側商業施設は、協定を締結して3年たったが、現在までにどのくらい進んだのか。

答 商業施設の必要性や整備手法等の協議で課題等の整理をするための資料を作成中。また、地権者協議会、進出事業者と町の3者による基本協定を改めて、本年5月に締結した。農用区域で協議が長期化となるが、今後も、町民の日常生活を支える拠点となる施設の整備に向け、取り組んでいく。

問3 ごみ処理施設は、どのくらい進んだのか。

答 鴻巣市、北本市と勉強会を開催し、また、両市と情報交換を行い、2市1町により基本合意の締結に向

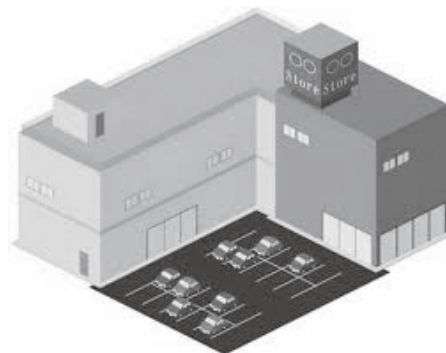
けて調整を進めている。

問4 下水道の整備は、計画どおり進んでいるのか。

答 昨年度、日向山団地内の工事が完了し、令和2年12月1日に供用を開始した。これで、215ヘクタールの整備が完了した。引き続き、事業認可区域の整備を進め、生活環境の改善に努める。

問5 荒川堤防の強化が進んでいないが、町の対応は。

答 今年の10月7日(木)に、関東地方整備局と荒川上流河川事務所へ。また、10月12日(火)に国土交通省水管理・国土保全局へ要望活動に行く予定。より一層、流域住民の安全な住環境を確保するため、整備の早期完成を目指し、強く要望していく。





30人以下学級にするために町独自で教員加配を

▶▶ 日本共産党 杉田しのぶ 議員

問1 現時点で、来年度の吉見中学校の新1、2年生は、30人を超える学級規模となる見通し。30人以下学級となるよう町独自で教員加配の対応を。

答 教育的効果を第一に考え、今後の生徒数の推移を注視し、新2年生は、関係課と連携を図り検討したい。新1年生は基準日の4月3日に判断し、必要に応じて県に加配を要望していく。

問 新学期から対応するためには、新年度当初予算で確保しておく必要がある。教育委員会は、予算要求としてあげること。また、予算を配分する執行部は、教育委員会の意向を踏まえて予算づけを。

答 教育委員会と町長部局である町執行部で、しっかり協議をして対応したい。

問2 新ごみ処理施設の建設予定地としてあげられている鴻巣市郷地安養寺地区は①鴻巣市のハザード

マップで2m～5mの浸水地域②後背湿地で排水が悪く、重量のある構造物の建設には適さない場所③多額な造成費がかかり、ごみ処理施設の建設には適さないという指摘があるが、町の見解は。

答 鴻巣市郷地安養寺地区は、鴻巣行田北本環境資源組合の中で選定された場所。同組合だよりでは、浸水対策として、プラットホームは2階に設置し、地下や1階には、重要機器類を設置しない。また、地質調査の結果、液状化の可能性は低いとの説明がされている。造成費は31.2億円でその他工事も含め最大で45億円の概算だが、費用を抑える手法等、改めて議論すべき事案の一つと認識している。

その他の質問 ・男性職員の育児休業取得の推進を
・職員の不妊治療を病気休暇対応に

学年	令和3年度	令和4年度
1年生	117人	114人
2年生	128人	117人
3年生	124人	128人

吉見中学校の学年別生徒数の推移

人 事

教育委員会教育長の任命同意

教育委員会教育長に
大澤 幸正 氏を
任命同意(再任)しました。

深谷市在住



教育委員会委員の任命同意

教育委員会委員に
長嶋 和義 氏を
任命同意しました。

中曽根在住



定例会のお知らせ

吉見町議会

12月定例会

11月30日(火) から開催される予定です。

詳しいことは、町議会事務局までお問い合わせください。

TEL 0493-63-5024 (ダイヤルイン)

新型コロナウイルス感染症拡大防止を防止するための「新しい生活様式」の行動変容により、傍聴席への入場をお断りさせていただくこともありますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

なお、3階大会議室を視聴会場としてモニターを設置いたしますので、こちらで、ご視聴をいただけます。

※視聴の際は、マスクの着用をお願いいたします。

表紙の題字



校長 村田 芳雄
東第一小学校 平成5年4月～平成7年3月

村田芳雄さん 大串在住 吉見領土地改良区会計理事

教員生活では、小見野小学校赴任時に、体育主任として連合体育大会5年連続総合優勝、東第二小学校では、小規模校ながら、中・大規模校に劣らないよう学力・運動力向上に努力しました。川越・東松山市を経て、東第一小学校の校長で教職道を終了しました。

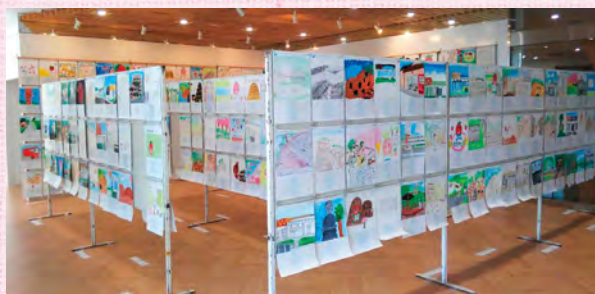
退職後、吉見町の教育委員を3期勤めました。その後は大串集楽堂農副理事長として、農業の厳しさや収穫の喜びを体験しました。現在、吉見領土地改良区会計理事として、隔月に事務所へ行っています。



吉見領土地改良区 役員履歴

役 職	任 期
監事	平成22年4月4日～平成26年4月3日
理事(会計担当)	平成26年4月4日～平成30年4月3日
理事(会計担当)	平成30年4月4日～令和4年4月3日

表紙の写真によせて



吉見町商工会青年部主催の愛ラブよしみコンクールが、ぷらっとよしみ玄関ホールで開催されました。コンクールは、平成10年から続いている秋の恒例行事です。展示されている町内小学校の児童の絵日記には、大好きな吉見町の風景、また、家族や友達などが描かれています。多くの方が訪れ、作品を見たり、好きな作品に投票したり「とても上手に書けてるー、すごーい」との声も聞こえました。



各学年2作品、合計12作品を選んで投票します。

編集後記

東京オリンピック・パラリンピックは、コロナ禍での開催で種々異論はあったが、無事終了出来たと思います。その中でパラリンピック選手の物凄い努力と、気力と堂々とした態度に心を打たれました。

現在は、コロナの感染者数が急激に減少しているが、今後も基本対策とワクチン接種に努め、リバウンド防止とさらなる減少にはげみましょう。(土田)



吉見町議会QRコード

議会だより編集特別委員会

委員長	齊藤 嘉宏
副委員長	神田 隆
委員	秋山 真美
委員	柳谷 泉
委員	土田 健壽
相談役(議長)	岩崎 勤

この議会だよりは再生紙を使用しています。